



様式第8号(第5条関係)  
(その1)

平成31年 1月15日

十和田市議会議長  
竹島勝昭様

会派名 日本共産党  
経理責任者 舩甚英文

平成30年度(4月~12月)政務活動費収支報告について

十和田市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、  
別紙のとおり平成30年度(4月~12月)政務活動費収支報告書を提出し  
ます。

(その2)

平成30年度 政務活動費収支報告書

会派名 日本共産党

1 収 入

政務活動費 270,000 円

2 支 出

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
調査研究費		
研修費	93,626	5/10~11 日本自治創造学会研究大会 (東京都) 7/17~18 林活議員連盟 (平川市、弘前市)
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費		
資料購入費	69,070	新聞、書籍
人件費		
事務所費		
合 計	162,696	

3 残 額 107,304 円

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

<平成30年度>  
<4月~12月分>

政 務 活 動 費 使 用 状 況

日本共産党

会 派 名	金 額	備 考	
収入	270,000	30,000円×1人×9ヵ月	
議 員 数	1		
支出			
調 査 研 究 費	0		
研 修 費	93,626	5/10~11 日本自治創造学会 研究大会 (東京都)	66,626
		7/17~18 林活議員連盟 (平川市、弘前市)	27,000
広 報 費			
広 聴 費	0		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0		
会 議 費	0		
資 料 作 成 費			
資 料 購 入 費	69,070	新聞、書籍	69,070
人 件 費	0		
事 務 所 費	0		
合 計	162,696		
残 額	107,304		

研 修 費



# 政 務 活 動 報 告 書

会派名	日本共産党			
活 動 議 員 名 (取扱議員名)				
外甚英文				
区 分				合計金額
1 調査研究費	② 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費	
5 要請・陳情活動	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費	66,626 円
9 人 件 費	10 事務所費	※該当する区分に○印		
期 間 (年月日)	平成30年5月10日 ~ 平成30年5月11日 (1泊2日)			
支出目的 (支出理由)	2018年度 日本自治創造学会 研究大会 参加			
用 務 先 (支払先)	東京都			
内容及び成果	別紙のとおり			

※領収書及び料金内訳書等の写しは裏面へ貼り付けしてください。

## 研修報告書

1、日時：2018年5月10日（木）～11日（金）

2、場所：東京都・明治大学アカデミーコモン棟

3、研修テーマ：人生100年時代の地域デザイン

～人口減少社会に向き合う地域社会から

### 4、講演

●1日目 5月10日（木）13:00～17:40

①講演1、人生100年時代の人づくり革命 13:10～14:00

講師：高橋 進 氏

《感想》テーマが大きすぎて、これから地域で取り組むべき課題はどうあるべきか等には、応えていないと思われる。ただ、これからの人材に求められることは、各産業における中核的IT人材・技術者だということであろう。そのために、高等教育の在り方が問われることになるだろう。

②パネルディスカッション 14:15～16:45

◎最初に司会者の山崎 亮の講演が45分ほどあり。

《感想》彼は地域の街づくりのためのワークショップや総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに取り組んでいる。秋田県立美術館での展覧会において、老人をの生活をテーマにした計画を作り、1600人ほどの参加をえたこと。また、参加者の年齢の合計が5000歳の「5000歳合唱」なども成功させたという。多彩な指導者のアドバイスがあれば、お年寄りの皆さんが素晴らしい力を発揮する例であろうか。アドバイザーの必要性を感じました。

◎次に別紙のような4人がパネラーになり、山崎さんの司会で報告をした。

1) 伊藤 文弥さん:ごきげんファーム農場経営

障害者と共に野菜などを作っている。事業の管理運営・指導を職員が行い、実際の作業は障害のある人の仕事となる。農業ヘルパーの参加、週末菜園への参加、農業イベント、グループホームの運営なども経営している。

2) 横山 太郎さん:・病院の経営者で、地域で孤独になりがちで、自殺をしそうな方々のサポートしている。そのための利用する場所として各地にある「公民館」をうまく利用している。ここで協力者も募り病気になった孤独な皆さんを元気づけている活動。

3) 李 ひよんしぎ さん:特定非営利活動法人 Learning for All で代表理事を務める。

子どもの貧困に立ち向かっている。

4) 井上 貴至:・・・総務省から愛媛県の市町振興課長に派遣され、地方で活動している。「地域づくりは仲間づくり」と題して報告する。話が具体的でないために非常に理解しがたいものであった。

③講演、人生100年時代の政府の取り組み 17:00~17:40

講師：菅 義衛 内閣官房長官・衆議院議員

※これまでの取り組みから

- 1) ふるさと納税創設
- 2) アベノミクスの成果・・・雇用の拡大etc
- 3) 成長戦略 ○インバウンド事業 2020年4000万人目標  
○ビザの緩和  
○免税店の増加4,000から40,000に

※国立公園34か所の内から8か所を支援

《感想》 現在やっていることの説明であったが、あっという間の40分であった。  
目新しいことは何もなかったと思う。

●2日目 5月11日(金) 当初の予定が国会との関係で、順序が一部変更になった。空き家対策が先になった。

①講演1、これからの日本をどうする 9:30~10:20

講師：佐々木 信夫氏 中央大学名誉教授・日本国づくり研究所理事長

今後保守政権が目指すべき日本の方向性を示していた。それは、

- 1) 時代の潮流・変化として、今後「廃県置州」、県を廃止して大きな州にするべきであること。これまでの47都道府県を10州2都市州という方向を示した。いわゆる道州制にするべきであること。このままでは、大借金大国になり、古い時代感覚では対応できない。そのためには憲法改正も必要だし、新しい道州制に向けた設計図を示していた。大変思い切った提案であり、もう少し私としては学習を深めなければならないものと思った。

②講演2、空き家対策と活用策 10:20~11:00

講師：伊藤 明子氏 国土交通省住宅局長

**基本的観点は街づくりの一環として空き家対策は考える！**

《感想》政府はいろいろと対策を考えてはいるが、自治体の現場との感覚がずれていられる。また、その具体的対策も所有権の問題もあり、大変一本縄ではいかならないと思われる。大変難しい課題であると思った。

政務活動報告書

会派名	日本共産党		
活動議員名（取扱議員名）			
外 甚 英 文			
区 分			合計金額
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	8 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	※該当する区分に○印	
		27,000 円	
期間 (年月日)	平成30年7月17日 ～ 7月18日 (1泊2日)		
支出目的 (支出理由)	7月17日 平川市 ・株式会社津軽バイオマスエナジー「木質バイオマス発電事業について」 ・津軽バイオチップ株式会社「木質バイオマスチップ生産の状況について」 7月18日 弘前市 ・「駅前こどもの広場」における木育の取り組みについて		
用務先 (支払先)	平川市、弘前市		
内容及び成果	別紙 視察報告書のとおり		

※領収書及び料金内訳書等の写しは裏面へ貼り付けしてください。



## 林活議員連盟調査視察 結果報告者

日本共産党  
十和田市議会議員  
舩 甚 英 文

- 1、日時 2018年7月17日(火)～18日(水)
- 2、視察先：(株)津軽バイオマスエナジー、津軽バイオチップ(株)、弘前市ヒロロ
- 3、視察報告

① 17日(火) 13:30～15:00 津軽バイオマスエナジー、津軽バイオチップ

平成25年4月に会社を立ち上げ、平成27年12月に売電を開始した。発電出力は6250KWで一日休むことなく稼働している。この燃料の木材は豊かな森林から発生する間伐材やリンゴの栽培において発生する剪定枝を用い、これを隣のチップ工場で木質チップにして用いている。

資源循環型エネルギーとしてのバイオマス発電は、地場産業としても大変効果を表しています。これまで捨てていた間伐材やリンゴの剪定枝や老木の利用、そして地元雇用も70人となっている。また、排熱を利用して近くのハウスに熱を供給して高糖度のトマトを栽培するなどしています。十和田市も豊富な森林があるので、バイオマス発電を取り組むことが可能ではないかと思いました。

② 18日(水) 9:30～11:00、弘前市の「ヒロロ」

この建物は弘前駅前に位置する再開発ビルを利用したもので、地下1階、5階建ての建物で、その3階に「駅前こどもの広場」があります。林活の研修目的からこの広場が木の利用が多様であり、特にこどもの遊具が木質であること、ということで今回の視察となった次第です。

このヒロロの3階には、市直営の子育て支援センターがあり、0歳から2、3歳の子どもとその親を対象としている。主に未就学の子どもやその親の利用が可能となっている。全体のスペースは中央に子どもの遊び場があり、ここに木質の遊具がいろいろありました。また、高齢者も利用できる健康トレーニング室もある。さらには一般の方が会議室として使える交流の場もあり、是非十和田市でも欲しいものである。十和田市のみち銀跡地の再開発に応用して欲しいものである。

以上報告とします。

資料購入費

(その3)

政務活動報告書

会派名	日本共産党		
活動議員名 (取扱議員名)			
姓 甚 英 文			
区 分			合計金額
1 調査研究費	2 研修費	3 広報費	4 広聴費
5 要請・陳情活動費	6 会議費	7 資料作成費	⑧ 資料購入費
9 人件費	10 事務所費	※該当する区分に○印	
期間 (年月日)	H30年4月1日 ~ H30年12月31日		
支出目的 (支出理由)	資料購入費として		
用務先 (支払先)			
内容及び成果	別紙領収書のとおり  (内 訳) ・デーリー東北 26,100円 (第1紙目とし、合計額に計上しない。)  ----- ・毎日新聞 27,837円 ・BUNKA新聞 5,850円 ・十和田新報 4,500円 ・県南新聞 4,913円 ・新婦人しんぶん 3,600円 ・生活と健康を守る会新聞 2,700円 ・商工新聞 4,500円 ・農民新聞 4,950円 ・書籍 10,220円  合計 69,070円		

※領収書及び料金内訳書等の写しは裏面へ貼り付けしてください。